

# 令和 5 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

## 1. 施設の概要

施設名	障害者生活支援センター	所管課	障がい福祉課
所在地	岐阜市都通二丁目2番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市身体障害者福祉協会		
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,389,000/年		
施設の設置目的	在宅の障がい者に対し、在宅福祉サービスの利用援助、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者やその家族の地域における生活を支援し、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造8階建のうち1階の一部 ◇延床面積:99.39㎡ ◇施設内容:事務室、相談室1・2		

## 2. 利用状況

		R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3下半期	R3 上半期
利用者数(単位:人)		200	219	126	119	98
各室稼働状況(人)	事務室(電話、メール、FAX)	52	65	39	30	36
	相談室1(来所)	16	26	13	22	12
	相談室1(関係機関、その他)	48	38	37	33	29
	相談室1(総合支援コーディネーター事業)	10	4	4	8	13
	相談室2他(企画事業利用等)	71	73	33	19	0
	その他(訪問、同行、個別支援会議)	3	13	0	7	8

## 3. 業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①開館日・開館時間の遵守 事業計画のとおり実施 ②適切な人員配置 常勤職員4名 非常勤職員1名 (内、相談支援専門員2名) ③広報の方策 ・ホームページ(主な掲載内容) センター概要、行事一覧、福祉機器・自助具の紹介、機関紙「たびだち」、事業所・制度、イベントの情報、講習会・講座の実施内容 ・機関紙「たびだち 72号」7月1日発行 2,800部 (内訳) 特別支援学校、小学校、中学校 80部 関係福祉団体 (1,475部) 岐阜市身体障害者福祉協会 1280部 岐阜市視覚障害者福祉協会 30部 岐阜市聴覚障害者協会 30部 その他 135部 福祉施設等 990部 予備 255部 ・チラシ(センター事業、各種講演会・講座) ④意見・苦情への対応 苦情なし
自主事業・提案事業	—	—

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②所有自動車の保守点検 ③備品管理	①日常・定期清掃業務 ・岐阜市社会福祉協議会により毎週火・金曜日に清掃、4か月毎に床ワックスがけ(5/13、9/9)清掃が行なわれている。 ・事務室はセンター職員が出勤時毎日テーブル、手すり等必要箇所を除菌消毒し、来所者がある時はマスクを着用している。 ・常時換気にも気を付けている。 ・空調機器保守点検 (5/22) ②公用車(リース)前年度をもって解約 ③備品管理 備 品 : 111点保有 福祉機器等貸し出し : 0件
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	修繕の実施なし。 ノウハウを生かした修繕なし
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	① 個人情報の保護 ・年度当初の研修において、個人情報保護条例等の周知を図り、個人情報保護の具体的事例を説明して、その情報の保護に努めている。 ・ホームページや機関紙等に掲載する個人情報(写真等)は、本人等から肖像権の使用同意書を受理して掲載している。 ・ 個人情報が記載されている文書等は、書庫に施錠して保管している。職員が各自使用するパソコンは、年度当初にパスワードを変更して、本人以外はパソコンに保存された情報を閲覧できなくしている。 ② 非常時の対応策 ・自動火災報知機設備等保守点検 (7/14) ・岐阜市民福祉活動センターでは毎年11月ころ消防避難訓練が予定されているが今年度はまだ決まっていない。 また、職員に避難マニュアルを配布し、事務室内に「緊急時避難経路図」を掲示して周知を図っている。 ・新型コロナウイルス感染症が第5類に変更になったが引き続き次のとおり実施した。 ・毎日、密集・密接・衛生対策の実施状況を管理。 ・職員の健康管理並びにコロナ感染時には、医療機関の指示によりおおむね発見時の次の日から5日間の出禁とした。 ・企画事業開催時には、新型コロナウイルス感染症が第5類に変更になったことに伴い、マスクの着用は個人の判断でお願いしているが、職員はマスクを着用し、換気等は2類のころと同じように行っている。 ③関係法令の遵守 地方自治法、障害者基本法等の施設運営に関連する法令・規則等について、月例会などで随時説明し職員に周知し遵守している。

#### 4. 利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室①、生活講座②）及び企画講座等③～⑦）の会場において、アンケート（無記名）を随時行い、来所者・参加者等の満足度、要望等を把握している。</li> <li>・ホームページの「お問い合わせフォーム」により利用者の相談や問い合わせを受け付けている。</li> </ul>
利用者アンケートの実施結果	<p>① 来所者へのアンケート実施結果 計4名（男性3名、女性1名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢（30代2、60代2名）</li> <li>・スタッフの対応（満足4名）</li> <li>・来所理由（相談4名、見学1名）</li> <li>・交通手段（車2名、自転車1名、徒歩1名）</li> <li>・施設等の管理（満足4名）</li> <li>・結果・内容（満足4名）</li> </ul> <p>《主なコメント》</p> <p>「いろいろ、分かったことがあったので良かったです。有難うございました」</p> <p>「細かく説明いただき、言葉も分かり易かったです」</p> <p>「説明も丁寧にしていただき、資料も準備していただけて良かった」</p> <p>「トイレがきれいでした」</p> <p>「より詳しく説明をいただけるという事で、親切な対応ありがとうございました」</p> <p>「聞きたい話を聞くことが出来てよかった」</p> <p>② 生活講座「おいしく食べて健康作り～バランスのいい食事とは？～」（5/25）</p> <p>参加者（身体障がい者2名、知的障がい者4名、精神障がい者2名） 計8名 （家族・支援者2名） 総計11名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座を知ったのは（相談支援専門員1名、公的機関配布チラシ1名、福祉関連事業所6名）</li> <li>・講座の内容（分かりやすい6名、普通2名）</li> <li>・参加の理由（食生活を改善したいと思った5名、体験型で面白そう2名、その他2名（太っていて気を付けていきたい）（複数回答あり）</li> <li>・フードモデルを使った体験についての感想 満足6名、やや満足1名 ふつう1名</li> <li>・興味のあることは カイロヨガ、ストレッチや軽い運動。 部屋の片づけなど生活をしやすいするための方法。 気持ちを落ち着かせるための良い香りの取り入れ方。</li> </ul> <p>《主なコメント》</p> <p>「自分が良いと思ったメニューでは塩分過多になることが分かった」</p> <p>「数を増やすこと、ご飯の量を控えることが、必ずしも栄養バランスの向上につながらないことがわかりました」</p> <p>「講義を聴くだけより、分かり易く興味がわきました」</p> <p>「食生活は気を付けていますが、なるほどと納得もできる内容でたのしかった」</p> <p>支援者《コメント》 「本人のためになると思って勧めた3名」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の満足度（満足9名、やや満足1名、普通1名）</li> <li>・内容は（分かり易かった8名、普通3名）</li> </ul> <p>③ 自転車シミュレータで交通安全を学ぼう（7/23）</p> <p>参加者（身体障がい者5名、知的障がい者5名、精神障がい者1名）計11名、支援者2名 総計13名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座を知ったのは（広報ぎふ1名、相談支援専門員4名、福祉事業所4名、その他3名）</li> <li>・きっかけは（交通安全について学びたいから7名、周りの人に勧められたから3名、その他2名）</li> <li>・講座内容は（分かり易い5名、普通4名、難しい2名）</li> <li>・感想（分かり易い4名、普通3名、難しい5名）</li> </ul> <p>《コメント》「ヘルメットの種類の選び方」「乗れるようになりたい」</p> <p>支援者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座を知ったのは（事業所に届いたはがき・FAX2名）</li> <li>・きっかけは（本人のためになると思い勧めた2名）</li> <li>・内容は本人にとって（分かりやすい1名、やや分かりにくい1名）</li> <li>・体験は（満足1名、普通1名）</li> </ul> <p>④ 「生活便利グッズ工作教室」用キット作りボランティア（7/31）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別（男性1名、女性2名）</li> <li>・年齢（10代2名、50代1名）</li> <li>・交通手段（車1名、その他）</li> </ul> <p>《コメント》「もっとボランティアの仕事がいろいろあると良いと思う。」</p> <p>⑤ 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第5回岐阜ブロック学習会 参加者24名と実習生3名計27名</p> <p>「身体障がいの不便を知ってください」～下肢障がいの場合～と題して、当センター職員が講師を務め、自助具（ファイリングペーパー）の製作も行った。</p> <p>《コメント》「目に見える障がいであっても、不便さは分かりづらいものである、という言葉の意味がよくわかりました」、「車椅子トイレは介助して使うことはあって便利なものだと思っていたが、自分で車いすを操作する人にとってはドアや配置が使いにくい場合があると知ることが出来てよかった」、「自助具づくりは、その人の不便さを知ること、ちょっとした工夫ですごく生活しやすくなるんだなと感じられ、とても良い経験になりました」</p>

利用者アンケートの実施結果	<p>⑥ 「生活便利グッズ工作教室(小学生)」参加者へのアンケート実施結果 (8/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学 年 (小学2年生 4名、3年生 2名、4年生 3名、5年生 2名)</li> <li>・「障がいのある人の暮らしを考える」お話 (とても分かり易かった8名、普通3名)</li> <li>・工作について (とても簡単3名、少し簡単3名、普通4名、少し難しい0名、難しい1名)</li> <li>・作る時の説明 (とても分かり易い 10名、 少し分かり易い 1名)</li> <li>・教え方 (とても良かった 10名、 少し良かった 1名)</li> </ul> <p>《主なコメント》</p> <p>「しょうがいしゃのこともたくさん知れてよかったです」</p> <p>「せんたくたみがめんどくさいからボードがあったら自分でもできるかもしれない」</p> <p>「障がいのことをよく知ることができたし、自助具を作るのも簡単で楽しかったです」</p> <p>保護者 7名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加されたきっかけ (広報ぎふ1名、 学校からのチラシ6名)</li> <li>・講座の満足度 (満足5名、やや満足1明、ふつう1名)</li> <li>・制作の満足度 (満足6名、ふつう1名)</li> <li>・職員の対応 (満足6名、やや満足1名)</li> </ul> <p>《主なコメント》</p> <p>「障害のある方の生活を考えるきっかけになったので、参加できてよかったです」</p> <p>「なかなか子どもたちに障がいについて伝える機会がなかったので、親子でとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。工作は、楽しく作ることが出来たようで、喜んでいました。有難うございました」</p> <p>「今まで障がいは特別なことと認識していましたが、お話の中で清流思いやり駐車場は妊婦さんや、けがをした人も使えると聞いて、とても身近なことだと思いました。工作でも、身の回りのもので簡単に便利グッズが作ることが出来ることを学び、良い経験をさせていただきました」</p> <p>⑦ 社会福祉士実習生へのアンケート結果報告(実習生:3名)</p> <p>講師の話し方態度等 満足3名 研修資料 満足3名 総合評価 満足3名</p> <p>《主なコメント》</p> <p>「何気ない普通に利用している物でも、何か障害があったり、力が入らなかつたりしたとき、不便になるものが多いと感じた。その不便さを解消するために、今回固定台を実際に作ってみて、自分で作ることで、自助具に対する理解が深まったから、工作教室はとても良いと思ったし、自助具を通して、障害に対しての理解へのきっかけになるから、福祉教育にぴったりだと思った」</p> <p>「様々な自助具について学ぶことが出来た。少しのアイディアで便利な自助具が作れると分かった。自助具や障害者のマークについて、知らないものも多くあった。これらの普及啓発が大切だと感じた」</p>
利用者からの要望・苦情と対応・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情や問題に対応するため、「苦情対応マニュアル」を定めている。今期、特に苦情や問題はなかった。</li> <li>・利用者の意見・要望等の受付に際して、ピアカウンセリングの視点に立ち、当事者を尊重した対応に心がけた。</li> </ul>

## 5. 指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者等へのアンケートやホームページでの意見聴取。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・指定管理者が発行する機関誌やホームページの活用。	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・新規の生活支援事業、既存事業の見直し。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・医療機関、学校、地域包括支援センター等各関係機関からの情報収集、連携ルートの確立。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・貸出や展示物品の利用方法や効果の案内・説明方策の提案、講習会の開催。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・ピアカウンセリングや訪問相談等の回数。	SS	SS	SS
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者へのアンケート実施、ホームページでの意見聴取。	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・企画事業の製作費用削減、相見積りによる比較。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・職員配置と勤務状況。	A	A	A
		区分評価				A
安全性 安定性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	障がい者への相談支援に関する事業、業務などの実績	・関係機関や市内相談支援事業者等への情報提供、助言、指導。 ・相談業務の実績。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・管理責任者を配置。 ・相談支援専門員を配置。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・相談支援の質の向上のための内部研修の実施。 ・外部研修及び講習への参加。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」と いう。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・総合支援協議会、芸術祭、相談支援連絡協議会等における部会運営参画。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・出前講座実施、理解啓発イベントの企画・参画、行政機関等における会議への協力。	A	A	A
		区分評価				A

## 6. 指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	<p>【自己評価】</p> <p>① ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最新情報の更新( 23件)</li> <li>(内容)当センター事業概要、自助具・福祉機器等の紹介、機関紙「たびだち」、企画講座の紹介活動報告など。</li> <li>「お問い合わせフォーム」により各種相談(問い合わせに24時間対応)。 相談メール5件:内訳 遠方から岐阜の身内を心配してのメールなどに対応した。</li> <li>ホームページアクセス数 *( )内:前期アクセス数 訪問回数 9,054 (9,747)回 ・ユーザー数 8,046 (8,077)人 ・ページビュー数 12,465 (12,365)</li> <li>ホームページの集計方法が、9月集計分から変わったために訪問回数、ユーザー数については前期とは比較しにくい数字となっている。</li> </ul> <p>② 福祉機器等の使用指導及び貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当センター事務室に福祉機器等を展示し障がいに適した機器等の選定使用方法をアドバイスしている。福祉機器等を試用する場合1か月を限度として貸し出している。</li> <li>ホームページには福祉機器・自助具を掲載し、新しい製品はアップもしている。</li> </ul> <p>③ 企画講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コーラスあんさんぶる 音楽を楽しみ、仲間を意識したり自分を表現することを学ぶ良い機会である。 今年度は参加人数も増えて、芸術祭で発表するのが楽しみである。 5/10 8名、6/7 10名、7/5 9名、8/2 9名、9/20 10名</li> <li>生活講座 「自転車シミュレータで交通安全を学ぼう」(7/23)</li> </ul> <p>≪ 質疑応答 ≫</p> <p>多くの質問が出て、県職員も、県警の職員もびっくりしていた。 傘をさすための道具を自転車に取り付けているがそれはいいのか。</p>



今期の取組み  
に対する評価

- ・「生活便利グッズ工作教室」用キット作りボランティア（7/31）  
参加者：男性1名、女性2名 ・年 齢：10代～70代までと年齢に幅があったが、障がい者のための生活便利グッズのキット作りの中で、障がいがあることによる不便さなど、障がい者の理解啓発につながった。  
参加者の中には、いろいろの自助具を知りたいと、昨年事前に当センターを訪れ、自助具の勉強をしていった大学生の妹が今年参加するなど、理解啓発の良い機会となった。
- ・生活便利グッズ工作教室（8/5）  
参加者：小学生11名 保護者 7名 当初小学生14名の参加者があったが3名のキャンセルがあった。  
小学生を対象に、障がい等の理解を深めるためのミニ講座、生活便利グッズの製作体験を行った。工作だけでなく、障がいに関するミニ講座を行う事によって子どもたちの障がい、障がい者に対する考えが変わった。
- ④障がいの理解啓発
  - ・4月2日～7日は自閉症を含む「発達障害啓発週間」「世界自閉症啓発デー記念作品展」  
当センターからは支援グッズ紹介パネルA4で25枚、発達障がいについてやICD-11についてのパネル24枚、センターちらし、機関紙などを展示して障がいの理解啓発に努めた。その中で「マスクがつけられない人に対する配慮を求めるタグ」、「聴覚障がいのある人に対して配慮を求めるタグ」等を昨年に引き続き、必要な人が自由に持ち帰ることができるように展示した。
  - ・出前講座：
    - ・岐阜大学附属小学校 5年2組「障がいのある人を支援する機関」「障がいがあるという事を考える～障がいの種別や特性～」参加者34名（6/5）
    - ・岐阜大学附属小学校 5年2組「障害について考える」参加者34名（7/13）
    - ・柳津小学校 むらさきはな学級「防災について」参加者10名保護者7名
    - ・人権学習講座『障がい』があるということ メディコス 78人
    - ・人権学習講座『障がい』があるということ 黒野会館 52名
  - ・「生活便利グッズ工作教室(小学生)」(8/5)
    - ・学 年 (小学2年生 4名、3年生 2名、4年生 3名、5年生 2名)
    - ・「障がいのある人の暮らしを考える」お話 (とても分かり易かった8名、普通3名)
    - ・工作について (とても簡単3名、少し簡単3名、普通4名、少し難しい0名、難しい1名)
    - ・作る時の説明 (とても分かり易い 10名、少し分かり易い 1名)
    - ・教え方 (とても良かった 10名、少し良かった 1名)
- 社会福祉士実習（実習生:3名）  
対象者：社会福祉士実習の大学生（3名）  
内 容：センター事業について、講座「身体障がいの不便を知ってください」、自助具について  
  
の説明、自助具の製作をおこなった。  
センターの業務内容の理解と障がい者の理解啓発につながる良い機会になった。
- ⑤相談支援の充実  
新たに相談支援を行った障がい者等は27人であった。
  - ・職員研修
    - 内部研修 文書溶解4/3、文書整理4/24
    - 外部研修
      - 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第1回ブロック学習会 年間計画、担当決め（4/6）
      - 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第2回ブロック学習会（5/11）
      - 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第3回ブロック学習会（6/9）
      - 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第4回ブロック学習会（7/11）
      - 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第5回ブロック学習会（8/3）
      - 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第6回ブロック学習会（9/7）
      - 岐阜県相談支援事業者連絡協議会総会並びに交流会（6/14）
      - 親亡きあとの前に今できること 難病連（5/28）
      - 食育打ち合わせ（4/26、5/1、5/22）
      - 岐阜市障害者総合支援協議会第1回専門部会（6/6）
      - 岐阜市障害者総合支援協議会第2回専門部会（7/4）
      - 人権教育講座「みんなが笑顔になるために」 鶴小（6/30）
      - 県自閉症協会第16回総会記念講演（7/2）
      - 「あんしん防火研修会」（8/4）
      - 岐阜県相談支援従事者現任研修（8/21）、（8/23）、（9/29）
      - 県障がい者就業・生活支援センター講座（9/27）

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>⑥ 関係機関との連携            岐阜市小中学校教頭会 「当センターの事業概要の紹介」 (中村) (6/9)            岐阜市身体障害者福祉協会第4支部総会「当センターの事業概要の紹介」(谷口) (4/16)            岐阜市身体障害者福祉協会第1支部総会「当センターの事業概要の紹介」(中村) (5/21)            共同生活援助「笑夢」見学 (4/3)            移行支援事業所 ウエルビー岐阜駅前センター見学 (5/19)            児童発達支援・放課後等デイサービス 桜路別館見学 (9/21)            ・「第30回岐阜市オンリーワンわたしたちの芸術祭」 6/21実行委員会設立総会以降、実行委員会事務局として企画・運営に携わった。(総会、実行委員会等3回、その他事務局協議数回)</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>【取組み状況(検討結果、取組中・取組済みのもの等)】            ・今期もセンターの認知度を上げる方策のひとつとして、小中学校教頭会に出席し、センターの役割、出前講座等の事業を紹介した。その効果で出前講座の依頼が入った。            ・生活便利グッズ工作教室は、小学校の生徒にも親にも新鮮な知識として認知され大変好評であり、障がいがあることでの不便さの理解、障がい者に対する理解が深まったと感じ、障がいの理解啓発の観点から重要な事業といえ、毎年の恒例事業にしていければと考えている。            ・毎回思う事であるが、事業を進める中で感じることは、広報の難しさ、開催すれば大変好評であり、特に健常者を対象にした工作教室は、障がいに対する理解啓発がセンターの狙い通りで子どもにも保護者にも、しっかりと理解してもらいよい機会になっている。しかし企画に応募してきたきっかけは広報ぎふは1割にも満たなかったり、行政機関においていたチラシからはゼロであったり、ただ過去には広報ぎふからの応募が大半を占めていたこともあり、取捨選択に迷うところである。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・ホームページの閲覧数の増加を期待して、行事等の詳細をタイムリーに紹介するなど、少しでもユーザーの利便性を高める努力を重ね、センターの企画事業なども紙面を増やし、当センターを知ってもらい一助にするなど、情報発信をすることにより、少しでも理解と啓発につなげていく。            ・企画等の周知が大変難しいことから、ホームページをうまく活用して少しでも当センターを利用してもらえるよう、ホームページを開いた時次のページに進みやすくインパクトのある内容に変えることが出来ないか、専門業者とも相談しながら進めていきたい。</p>

## 7. 所管課の意見

・R5年度上半期は来所者へのアンケート回答数が4件と少なかったものの、満足度は高い。今後も更にセンター利用者に積極的にアンケート回答を促していただき、利用者の声を事業に反映していただきたい。  
 ・広報活動として、小中学校の教頭会に参加されたり、学校でのチラシ配布の効果もあり、講座の参加者に小学校の生徒やその親の参加も多いようで、関心をもってもらえる良い機会となっていると考えられる。出前講座の依頼も継続してあるようで、引き続き広報活動を願いたい。また、相談支援事業所から講座を知ったという回答も多いことから、相談支援事業所への広報活動も今後も継続していただきたい。  
 ・外部研修のうち、相談支援事業者のブロック会議も昨年に引き続き、参加されており、新規に相談支援をおこなった方も27名と、相談支援との連携も重視している。今後も専門性の向上に加え、関係づくりに尽力いただきたい。

## 8. 指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。